

第3回 気候市民会議まつもと Climate Assembly Matsumoto

2024年10月26日（土）13:00～17:00

松本市役所 本庁舎 大会議室

主催：気候市民会議まつもと実行委員会

参加者：無作為選出された松本市民 47名

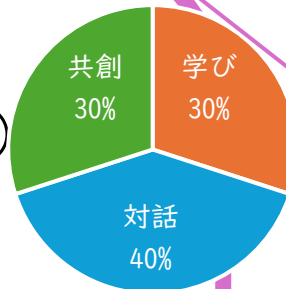
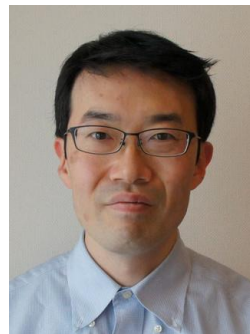
本日の主題

10月26日（土） 第3回 テーマ：気候変動対策の検討①

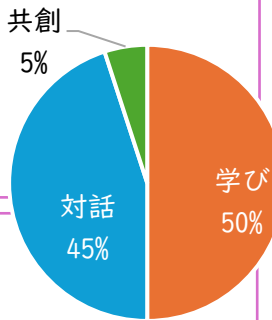
情報提供者：

平島安人さん
（自然エネルギーネットまつもと 代表）

櫻井啓一郎さん
（産業技術総合研究所 主任研究員）



9月7日（土）第1回
テーマ：気候変動の現状
情報提供者：江守正多さん、浜田崇さん



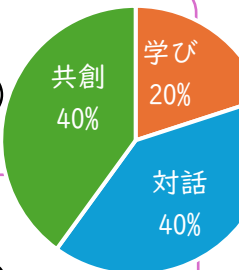
9月28日（土）第2回
テーマ：気候変動対策の取り組み
情報提供者：平林高広さん、鈴木博史さん、Y-CAM



11月16日（土）第4回
テーマ：気候変動対策の検討②
情報提供者：第3回までの議論を受けて調整

12月14日（土）第5回
テーマ：市民アクションプランの検討①

2025年1月25日（土）第6回
テーマ：市民アクションプランの検討②



2025年3月頃

気候市民会議まつもと 報告会





第2回CAMのふりかえり

気候わかもの会議(Y-CAM)



対話2 気候変動対策を進める上で 大切だと考えること

これまでの情報提供を受けてみて、
気候変動対策を進める上で大切だと考えることは、
どのようなことでしょうか。

※お一人の1回の発言時間は最大
2分程度と意識しましょう。

誰一人取り残さない。

たとえば
——SDGsの理念って

SDGs

——タワーレコードは

今後、市民アクションプランや政策提言を
検討していく中で、一人ひとりの「柱」に
なるものは見つかったでしょうか。
☆アイデアは付箋にメモして、グループで共有しましょう。
☆共有したことは模造紙へ貼り付けてください。



気候変動と 脱炭素社会に関する アンケート調査 (結果の概要)

2024年9月28日 第2回気候市民会議まつもと
信州大学人文学部 社会学研究室

気候変動対策の取り組み

2人の行政職員から情報提供を受けました

平林高広さん：「2050ゼロカーボンに向けた長野県の取り組み」

- 意外と長い取り組み
- 台風19号豪雨災害
- 初の気候非常事態宣言、60%削減
- ただ排出削減するだけでなく、お金や資源を地域で循環
- 2020年の実績で22.6%削減
→ロードマップで具体化、加速化
- 県内産業も大転換を求められる

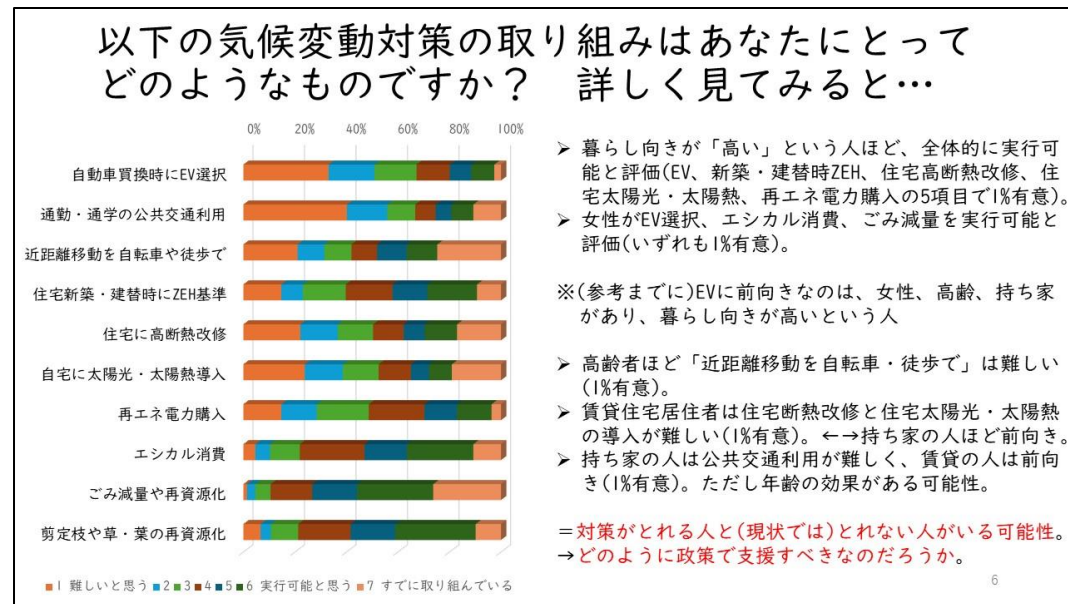
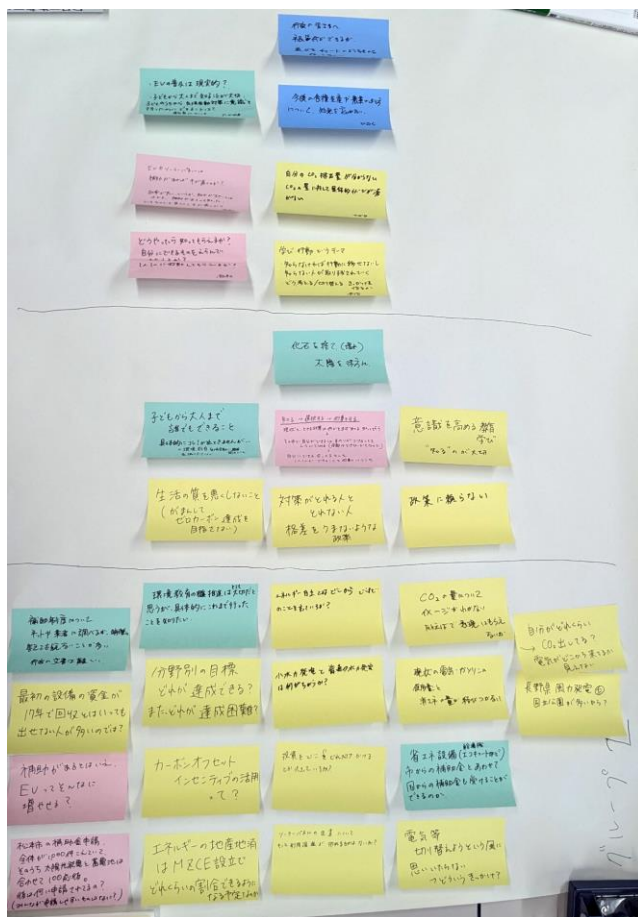


鈴木博史さん：「ゼロカーボンで住みよい松本市を実現するための取り組み」

- まちづくりの大原則
- 市民生活に関わる部分が50%超
- 県内世帯あたり排出量は全国平均の1.5倍→大きな要因を要対策
- 再エネ：太陽光が大きい
- 多種多様な補助メニュー



対話① 疑問点や不明点 対話② 大切と考えること／テーマ



- アンケート調査の分析結果
- 気候変動の影響：広く認識
- 対策がとれる人ととれない人がいる可能性

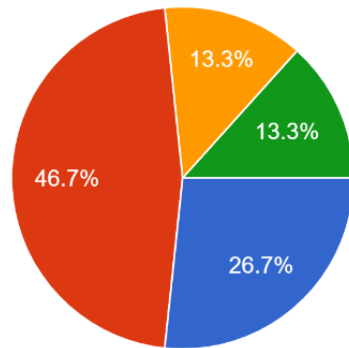
松本市ウェブサイトを開催報告を公表してあります。
参加者の皆様もぜひご覧ください。(全ての付箋を文字化してあります。)

第2回実施後の参加者アンケートの結果

質問 2. 情報提供の内容は、わかりやすかったですか。

次の中からもっとも近いものを 1 つお選びください。

30 件の回答

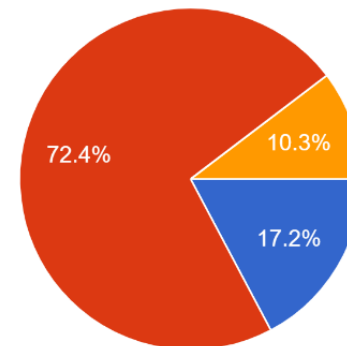


- 非常にわかりやすかった
- どちらかといえば、わかりやすかった
- ふつう / どちらともいえない
- どちらかといえば、わかりにくかった
- 非常にわかりにくかった

質問 6. 気候変動対策について、とくに興味・関心のあるテーマや対象は見つかりましたか。

次の中からもっとも近いものを 1 つお選びください。

29 件の回答



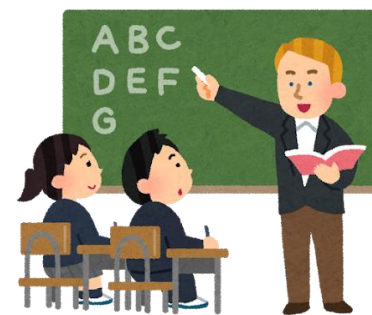
- はっきり見つかっている / 見つけたと思う
- モヤモヤしているが、だいたい見つけた
- 見つけていない

会議運営についてお気づきの点は？



- 前回よりも濃い話し合いだった。
- 今回出た物の注釈がほしい。FCV、ZEH、ZEBなど
 - 開催報告に注釈をつけました（以下、抜粋）
 - EV：電気自動車（Electric Vehicle）
 - FCV：水素を用いた燃料電池自動車（Fuel Cell Vehicle）
 - ZEH（ゼッチ）：建物の断熱性を高めて省エネを実現するとともに、再生可能エネルギーによってエネルギー収支ゼロを目指した住宅（net Zero Energy House）
 - ZEB（ゼブ）：建物の断熱性を高めて省エネを実現するとともに、再生可能エネルギーによってエネルギー収支ゼロを目指したビル（net Zero Energy Building）
 - カーボンプライシング：排出するCO2（カーボン、炭素）に価格をつけ、それによって排出者の行動を変化させるために導入する政策手法
 - V2H：Vehicle to Homeの略称で、EV等に搭載された電池から家庭に電力を供給できる機能
- 質問者の時間が長過ぎる時があった。
- 飲み物やお菓子等は要らないのでは。
- 感染症対策として換気をしてほしい。
- 駐車場について。可能な人は自転車や公共交通機関の利用を呼びかけるのが先では。
（駅からのバスチケットを配布してくれたら嬉しい）

今後の会議で受けてみたい情報提供



- 太陽光発電などの再生可能エネルギー／太陽光パネルのデメリット／EV太陽光発電設備／メガソーラー／EVのバッテリー（製造・廃棄・コスト）
- 松本市で実施されている活動／ゼロカーボン実践者の体験談／農業、林業、漁業者の関わり
- 波田地区の具現化状況／MZCE／交通対策とCO2削減／森林吸収の現状
- 世界の温室効果ガスに対する具体的な取組
- 身近における実現可能なこと
- 災害とつながる温暖化とは
- ゼロカーボンが大切な事は段々わかってきました。その為に来る事をしていかなければいけないと思いますが、実際、温暖化対策設備を設置する時の補助金、松本市だけではなく、国や県でも対策していないのか詳しく。

国の補助金	
CEV補助金	
EVの上限額	85万円
軽EV・PHEVの上限額	55万円
交付条件	・一定期間内に新車を購入すること ・購入したEV等の一定期間保有（原則4年間）
申請書受付期間	・初度登録日から1カ月以内に申請 ・交付申請書の受付期間：令和7年2月13日まで（必着） ・補助対象となる初度登録（届出）期間：令和7年2月1日まで

+

地方自治体の補助金
補助金の有無・上限額・交付条件等 各自治体により異なる

自己紹介を兼ねて、私のゼロカーボンチャレンジ

- 松本市内の賃貸アパート（3LDK・4人暮らし）
→ 自宅屋根に太陽光パネルは載せられない
＝電気自動車(EV)を買っても自宅では充電できない
（早く街中に充電インフラが欲しい）

➤ 自宅の電力は某新電力会社の再エネ100プラン

直近1年の拙宅の電力使用のピーク月＝2月 313kWh
直近1年の電力使用量 2762kWh

➤ 太陽光発電「相乗りくん」8.42kWのパネルオーナー

5.5年で信託した資金の50%の売電収入をゲット
2023年の発電量10547.6kWh×0.459kg-CO2/kWh＝4.8t-CO2の削減に貢献

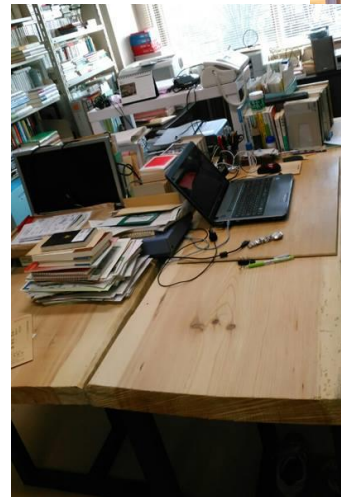
➤ 自動車は2021年に中古HV車を購入 次はEVにしたいがまだ先

直近1年のガソリン購入量は344.7L×2.32kg＝800kg-CO2を排出

➤ LPガスは175.1m3×5.98kg＝1047kg-CO2を排出

→ 自動車メーカーのアプリ
給油記録がつけられる

→
子どもたちの勉強机
大北産クリの天板
脚は大北産スギ
自ら組み立てました



←
職場（研究室）の机
安曇野市産アカマツを天板に
松枯れが迫るマツ林を
少しでも木材にして炭素固定
※安曇野里山市にて板材購入

給油記録一覧

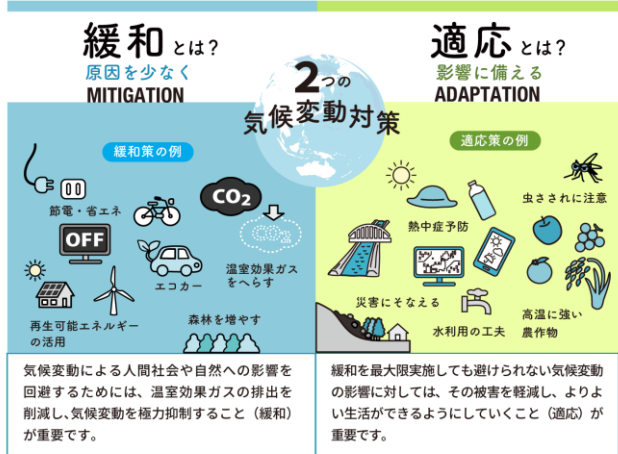
2022年の記録集計	総給油量: 235.80L	合計金額: 42,630円
2022年08月15日	給油量: 26.30L 給油金額: 4,707円 総走行距離: 56,509.0km 単価: 179.0円/L	
2022年07月29日	給油量: 28.20L 給油金額: 5,047円 総走行距離: 56,040.0km 単価: 179.0円/L	
2022年06月18日	給油量: 33.00L 給油金額: 5,940円 総走行距離: 55,560.0km 単価: 180.0円/L	
2022年05月15日	給油量: 30.90L 給油金額: 5,562円 総走行距離: 54,911.0km 単価: 180.0円/L	
2022年04月29日	給油量: 33.90L 給油金額: 6,169円 総走行距離: 543,220.0km 単価: 182.0円/L	
2022年03月22日	給油量: 29.60L 給油金額: 5,446円 総走行距離: 53,680.0km 単価: 184.0円/L	
2022年02月20日	給油量: 28.90L 給油金額: 5,259円 総走行距離: 53,120.0km 単価: 182.0円/L	



<https://www.facebook.com/ainorikun/>

皆さんのカーボンフットプリント ぜひ（のちほど）確認してみてください





松本市の排出量割合

- ・ **運輸部門27.2%**
- ・ **家庭部門23.7%**
- ・ 産業部門19.8%
- ・ 業務部門23.4%
- ・ 廃棄物2.2%
- ・ その他3.7%

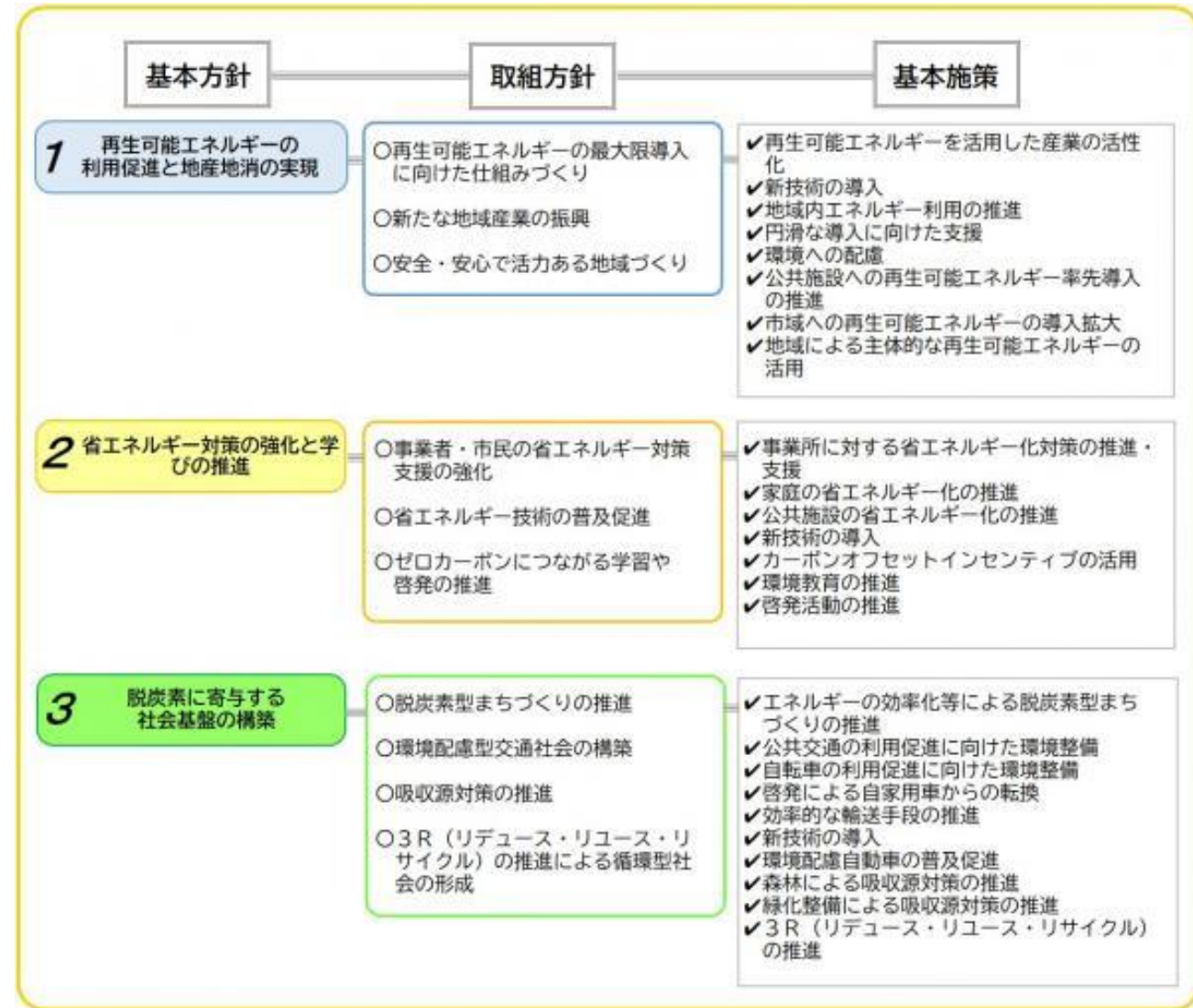
（2017年実績）

1-3 温室効果ガス排出量の2030年度削減目標の実現に向けて

	2030年度に目指す状態	県民・事業者等の皆さまに重点的に取り組んでほしいこと	県の重点施策
運輸部門	・ 乗用車 現状 2千台の EVを10万台へ ・ 公共交通利用者 現状 7,244万人を 1億人へ	・ 一家に1台はEVを！会社の車もEVに更新を（乗用車の新車販売6台に1台をEVに更新） 更新する際はエネルギー効率が高いEVを選択 車種や用途により困難な場合はハイブリッド車を選択 EV目標10万台/乗用車ストック138万台 ・ マイカー通勤・通学の10人に1人は公共交通利用に！ バス停・駅から徒歩圏内の人は公共交通を積極利用 公共交通利用者（実数）の増加目標6万人/マイカー利用者72万人	・ EVの安心・快適使用に向けた公共用急速充電器の整備促進 ・ 通勤・通学時の公共交通利用拡大を目指した交通DXの推進による利便性向上
	・ 新築住宅ZEH率 現状 3割※を、国より前倒して2025年度以降早期に 100%へ ※推計値 ・ 住宅屋根ソーラー 現状 9万件を 22万件へ	・ 環境・家計・身体にやさしいZEH基準以上の省エネ住宅を新築！ 国のZEH義務化に先駆けて、高断熱・高気密の省エネ住宅を新築 新築ZEH率目標100%/現状 3割(推計値) ・ 住宅屋根の3割（22万件/63万件）に太陽光パネル設置！ 自宅に太陽光パネルを設置し、電気代を節約＋災害にも強い住宅に	・ 新築における信州健康ゼロエネ住宅普及によるZEH率向上と、ZEH義務化の検討 ・ 初期費用ゼロ円モデルの構築等により「信州屋根ソーラー」標準化「プロジェクト」を推進
家庭部門	・ 年3%減の省エネを継続 ・ 再エネ利用率 現状 3%から 23%へ	・ 年3%の継続的な省エネと、再エネ利用の大幅拡大（再エネ電力利用率3%→23%）による温室効果ガス削減で「選ばれ続ける」事業者へ 使用エネルギーの把握や、省エネ設備への計画的な更新等を通じて、収益改善にも資する省エネを推進 再エネ設備導入による電力の自家消費や、グリーン電気購入等を通じて、使用エネルギーの再エネ化と企業価値の向上を推進	・ 事業活動温暖化対策計画書制度・使用エネルギーの可視化支援・融資制度による省エネ促進、再エネ導入支援等により、事業者の脱炭素化の取組を後押し
産業・業務部門			

（長野県ゼロカーボン戦略ロードマップ）

すべきことはある程度（かなり）明確



（まつもとゼロカーボン実現計画）

(参考) 環境省 ゼロカーボンアクション30



脱炭素社会の実現には、一人ひとりのライフスタイルの転換が重要です。
「ゼロカーボンアクション30」にできるところから取り組んでみましょう！



エネルギーを 節約・転換しよう！

- 1 再エネ電気への切り替え
- 2 クールビズ・ウォームビズ
- 3 節電
- 4 節水
- 5 省エネ家電の導入
- 6 宅配サービスをできるだけ一回で受け取ろう
- 7 消費エネルギーの見える化



太陽光パネル付き・ 省エネ住宅に住もう！

- 8 太陽光パネルの設置
- 9 ZEH（ゼッチ）
- 10 省エネリフォーム
窓や壁等の断熱リフォーム
- 11 蓄電池（車載の蓄電池）
・省エネ給湯器の導入・設置
- 12 暮らしに木を取り入れる
- 13 分譲も賃貸も省エネ物件を選択
- 14 働き方の工夫



CO2 の少ない 交通手段を選ぼう！

- 15 スマートムーブ
- 16 ゼロカーボン・ドライブ



食ロスをなくそう！

- 17 食事を食べ残さない
- 18 食材の買い物や保存等での食品ロス削減の工夫
- 19 旬の食材、地元の食材でつくった菜食を取り入れた健康な食生活
- 20 自宅でコンポスト



環境保全活動に 積極的に参加しよう！

- 30 植林やゴミ拾い等の活動



CO2 の少ない製品・ サービス等を選ぼう！

- 28 脱炭素型の製品・サービスの選択
- 29 個人のESG投資



3R（リデュース、 リユース、リサイクル）

- 24 使い捨てプラスチックの使用をなるべく減らす。マイバッグ、マイボトル等を使う
- 25 修理や修繕をする
- 26 フリマ・シェアリング
- 27 ゴミの分別処理



サステナブルな ファッションを！

- 21 今持っている服を長く大切に着る
- 22 長く着られる服をじっくり選ぶ
- 23 環境に配慮した服を選ぶ